

[東京都市大学 校友会]「日本遺産・大谷石文化」を探るバスツアー

平成30年10月5日

会員各位

東京都市大学 校友会

会長 原口 兼正

親睦行事担当部会長 金子 正樹

「日本遺産・大谷石文化」を探るバスツアー ～大谷資料館等を巡る小旅行～

会員の皆様におかれましては、本会活動にご協力いただきまして誠にありがとうございます。

さて、9月5日付で校友会企画委員会付置親睦行事担当部会で企画いたしました バスツアー

「栃木県大谷資料館」のご案内を一斉メール配信しておりますが、改めてご案内いたします。

なお、集合時間が変更（8：20）になりました。

本ツアーは、貸切バスで本年5月、文化庁から日本遺産に認定された大谷資料館（大谷石採掘場跡）を見学します。

更に「洞窟酒蔵」や「龍門の滝」の見学、栃木名物の「宇都宮餃子」の昼食もあります。

素敵な一日を同窓の皆様と楽しく過ごしていただければと考えております。

皆様お誘い合わせのうえ、ご参加いただけると幸いです。よろしく願いいたします。

- ・実施日時 平成30年11月17日（土）
- ・集合、解散場所 新宿駅西口 工学院大学前
- ・集合時間 午前 8時50分 → 8時20分 <変更>
(トイレを済ませて集合ください)
- ・解散予定時間 午後 6時
- ・行程
 - 午前 大谷資料館（ガイドツアー）
 - 昼 宇都宮餃子館で昼食（4種の餃子を食べ比べ）
 - 午後 龍門の滝見学、島崎酒造見学（清酒 東力士の醸造元）
- ・参加費 6,500円（通常9,500円のうち、3,000円校友会より補助）
(バス代、昼食代、大谷資料館入場料、旅行保険料)

※申込後振込用紙を送付します。（振込期限は11月2日）

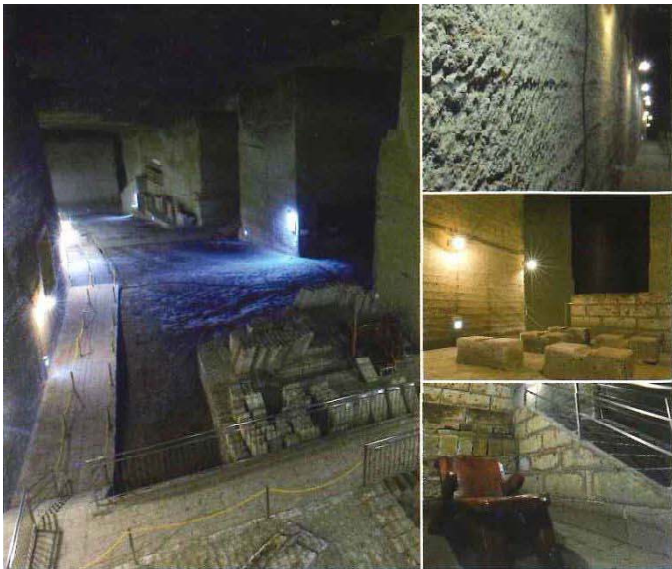
- ・募集人員（対象） 35名（正会員、大学教職員）
- ・募集締切 平成30年10月22日（月）
- ・その他 校友会会員以外（ご友人、ご家族）の参加希望につきましては校友会事務局にお問い合わせください。

・申込および問い合わせ先 校友会事務局

電話 (03) 3703-3862

FAX (03) 3703-4595

E-mail koyukai@tcu.ac.jp



大谷ぶらり散策

大谷資料館周辺には、大谷石むき出しの岩肌や垂直に切り立った岩壁が連なる大谷景観公園があり、国の名勝にも指定されています。また、自然の岩壁に彫られた高さ2.7mの平和観音や日本最古の磨崖仏、天然の洞窟の中にすっぽりと包まれた大谷寺など、自然と文化が奏でる大谷をお楽しみいただけます。



▲大谷景観公園の奇岩群

>>大谷景観公園まで徒歩5分

>>多気不動尊まで車で3分

>>大谷寺、平和観音まで徒歩15分

memo

▶ 営業案内

休館日>> 12月～3月の毎週火曜日・年末年始
(火曜日が祝祭日の場合は翌日休館)
※但し臨時休館の場合がありますので電話でご確認ください。

開館時間>> 4～11月 9:00～17:00(入館は16:30まで)
12～3月 9:30～16:30(入館は16:00まで)

観覧時間>> 約40分

駐車場>> 第一駐車場/バス2台、身障者・高齢者用25台
第二駐車場/普通車200台
第三駐車場/普通車30台
第四駐車場/普通車70台

入館料>>

大人	¥800	団体 (20名以上)	¥700
小人 (小・中学生)	¥400	団体 (20名以上)	¥350

※地下採掘場跡見学料も含む(消費税込)

※階段の上り下りのある見学コースになっております。
歩行の不自由な方は予めご連絡の上ご来場ください。

▶ 交通のご案内

- JR宇都宮駅から関東バスで30分
- 関東バス資料館入口から徒歩5分
- 東北自動車道 鹿沼ICから車で20分(13km)
- 東北自動車道 宇都宮ICから車で12分(8km)

▶ 地図



写真/下野新聞社提供

石の里「大谷」 地下採掘場跡公開



地下30mに広がる
神秘の巨大空間へ

大谷資料館

〒321-0345 栃木県宇都宮市大谷町909
TEL>>028-652-1232 FAX>>028-652-0010

施設のご案内

<http://www.oya909.co.jp/>

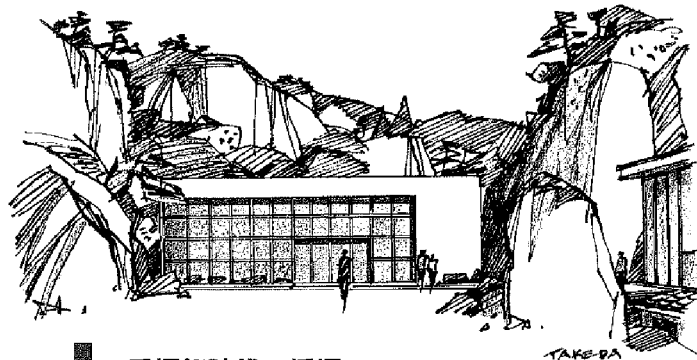
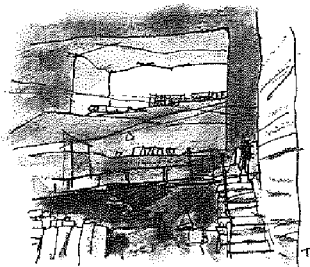
大谷資料館へようこそ

石の里「大谷」—大谷石に生まれ発展した大谷。
現在では、大谷石採掘も手掘りから機械掘りとなり、昔と大きく変わってきています。
この変わり行く大谷石採掘の姿を、手掘り時代と機械化になった採石の道具などを展示しています。

■ 大谷石地下採掘場跡

一般の人々の目に触れることなく「未知なる空間」と呼ばれた、地下採掘場跡。その広さは、約2万平方メートル(140m×150m)、深さは平均30mあり、最深の部分は地下60mにも及びます。これは、野球場が1つ、すっぽり入ってしまう大きさです。壁面には、手掘り時代のツルハシのあとが残り、ずっしりと年輪の重さを感じさせます。巨大な地下神殿のような景観で、エジプトのピラミッドの内部やインディ・ジョーンズの世界観のような幻想的な空間です。第二次大戦中は、地下倉庫や軍事工場として、戦後は、政府米の貯蔵庫としてお米をお預かり致しました。なお、坑内の平均気温は8℃前後で、地下の大きな冷蔵庫といった感じです。

この「未知なる空間」を、一般の方々に公開しています。



■ 手掘り時代の採掘

採掘が本格的に始められた江戸時代の中頃頃から、機械化になる昭和34年頃までの手掘り時代の道具といえば、数本のツルハシ類と、石を運ぶ時に使われた背負子ぐらいしかありません。ここでは、採掘方法に関する資料や、採掘の道具、服装、ツルハシを作ったり修理したりする鍛冶屋などを中心に構成しました。当時の苦労の様子が良くわかります。

■ 機械化後の採掘

ここ20数年の間に、石を切断する機械は著しい進歩を示し、現在ではいろいろな採掘や裁断が機械でできるようになり、大谷石採掘に産業革命というべき、一大変革をもたらしました。そこで、初期の機械や、近年の採掘・裁断機も展示しています。

■ 大谷石運搬・運送の移り変わり

かつて手掘り時代には、80kg以上もある石を背負子を使い、1本1本背負って採掘場から運び出しましたが、機械化後の現在では、モーター・ウインチにより、巻き上げられています。輸送方法も、馬の背中、馬車、荷車、人車(トロッコ)から、鉄道やトラックへと変わり、今では、ほとんどトラック輸送が中心です。こうした運搬・輸送の変化を追ってみました。

■ 大谷の地質

大谷石とは、栃木県宇都宮市大谷の付近一帯から採掘される。新生代第3紀中新世(今から1500万年前)に属する。流紋岩質角礫凝灰岩の総称であります。このコーナーでは、大谷石の成因、特徴、層のなりたち、分布を紹介いたします。

■ 大谷石利用の歴史

8世紀の中頃、下野国分寺の土台石として、また代表的な建物では、大正11年にアメリカの建築家、フランク・ロイド・ライトの設計による東京の旧帝国ホテル(現在は明治村に保存)に大谷石は利用されました。このように、大谷石利用に関する歴史的な資料を集めてみました。

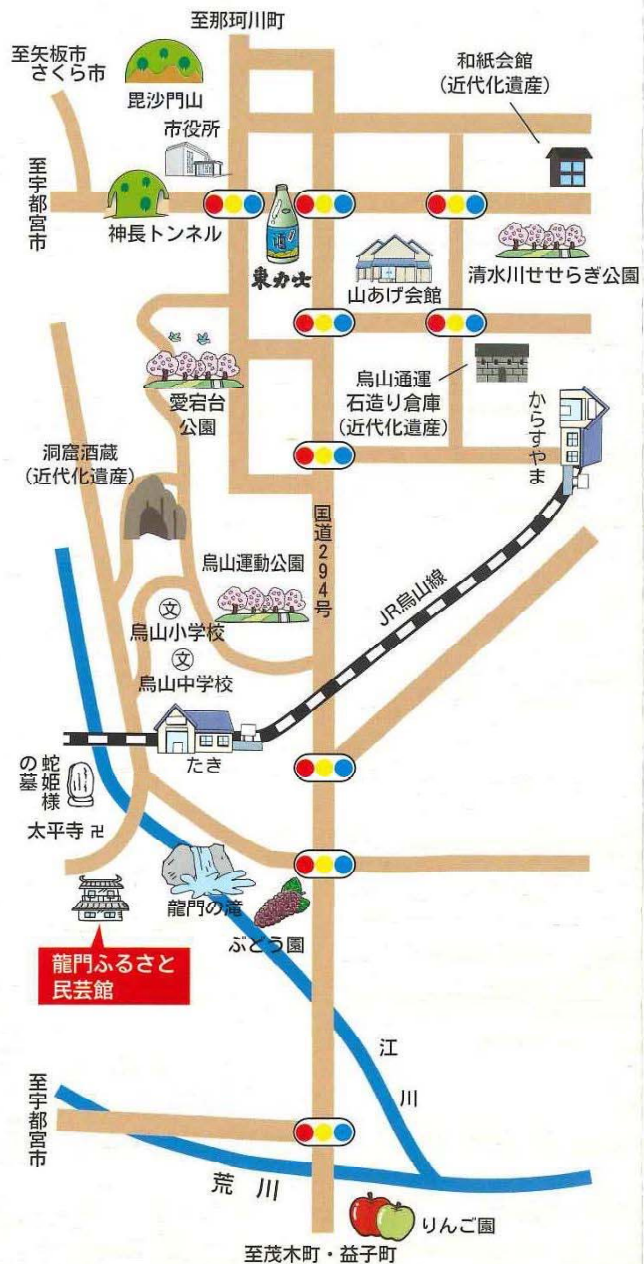
■ 大谷資料館 これまでの活用実績

- 1981年・映画「セーラー服と機関銃」撮影
- 1983年・シンセサイザー奏者 喜多郎「21世紀の祈り」コンサート
- 1984年・観世流能楽師・津村禮次郎「巖河の能公演」(’84, ’85)
 - ・第1回大谷地下美術展’84 1989年第6回まで毎年
- 1985年・演出・台本 太田省吾転形劇場「地の駅」公演
 - ・宗次郎「オカリナを聞く夕べ」
- 1986年・山海塾 滑川五郎「アポリジニイ」ダンス・パフォーマンス
- 1987年・やまもと寛斎 FASHION SPECTACLE「行くぞっ!」
- 1988年・林峰男「無伴奏チェロ・コンサート」
- 1993年・学式場「地下の教会」として利用始まる
 - ・地元日本酒醸造元の新酒及び古酒を蔵置場として保管、熟成貯蔵管理始まる
- 1994年・大谷’94「瑠璃の天蓋」山村俊雄個展 1998年まで毎年
- 1995年・牧阿佐美/バシエ工団「ロメオとジュリエット」公演
- 1996年・清水靖晃& Saxophonette「Celio Suites」CD録音
- 1999年・マジカル・ストリングス「ケルト音楽」コンサート
- 2000年・映画「ウルトラマン・ティガ」撮影
- 2001年・フェスタ in 大谷 2001 トワエモア・野外コンサート
- 2005年・日韓現代美術展「還流」
- 2007年・映画「仮面ライダー電王・ゲキレンジャー」撮影
- 2008年・日本テレビ系列「HAPPY X'mas SHOW」世界的に有名なエンヤの映像と音声を撮影収録・放送
- 2009年・チグリハーフ&鎌田菜月「月明かりも届かぬ場所」和紙灯りコンサート
 - ・渡辺純子フラメンココンサート’09「Zorongo Gitano」
- 2010年・映画「ライアーゲーム ザ・ファイナルステージ」撮影
 - ・小泉隆写真展「光と空間」
- 2013年・TBS系列ドラマ「潜入探偵トカゲ」撮影
- 2014年・映画「るろうに剣心 京都大火編」撮影
 - ・スイスオメガ社「グレート・アドベンチャー・オブ マスター コーアクシャル」発表イベント
 - ・モエヘネシーティアジオ(株)ドムベリニオンP2-1998発表イベント
- 2015年・映画「暗殺教室」撮影
 - ・BMW ジャパン2シリーズ試乗会
 - ・カモト加工紙(株)mtex 展
- 2017年・深海の不思議展
- 2018年・VENT

プロモーションビデオ撮影

TM NETWORK、長瀬剛、LUNA SEA、X JAPAN、GLAY、工藤静香、DA-PUMP、B'z、野猿、島谷ひとみ、東京事変、SID、水樹奈々、JUJU with JAY'ED、Takamiy (高見沢俊彦)、三代目 J Soul Brothers、東方神起などのPV撮影地としても多数利用されています。

龍門の滝周辺マップ



年 月 日 来館

交通のご案内

車

- 東北自動車道
宇都宮IC、矢板ICから約50分
- 北関東自動車道
上三川ICから約50分
- 常磐自動車道
那珂ICから約50分

鉄道

- JR宇都宮駅よりJR鳥山線で約45分

龍門ふるさと民芸館

開館時間 午前9時～午後4時

休館日 毎週火曜日(祝日の場合はその翌日)

入館無料

〒321-0633 栃木県那須烏山市滝414番地

TEL 0287-83-2765

E-mail yamaage-1977@ar.wakwak.com

龍門ふるさと民芸館

検索

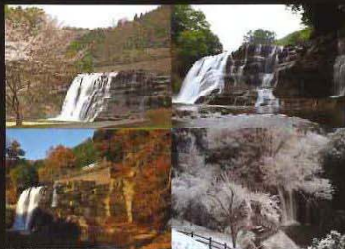
龍門 ふるさと民芸館



江川にかかる、高さ約20メートル幅約65メートルの滝。中段には、男釜（おがま直径約4メートル）、女釜（めがま直径約2メートル）と呼ばれる二つの縦穴があります。

この男釜に住むといわれている『龍』の伝説が名称の由来になっています。

四季折々に魅せる美しい風景もさることながら、滝の上を通る烏山線と撮れる絶景の写真スポットです。



龍門の滝

周囲に息づく 豊かな自然



太平寺

下野の国十一番札所です。延暦23年（803年）征夷大將軍・坂上田村麻呂が大願成就を祈願勧請の為に創立しました。市文化財指定の本尊千手観音像、県文化財指定の天蓋（内面に天女の浮き彫りが施されている）など多数の文化財がおさめられています。また本堂を右の方に進むと、小説『蛇姫様』のモデルの一人になったといわれる、お志賀姫（阿志賀姫）のお墓があります。境内には、かたくりの花が群生していて、4月上旬には春の訪れとともに赤紫色の可憐な花が一面に咲き誇ります。



からすやまに残る 伝承と民話の館

館内の『龍神洞』には龍神が鎮座し、願い事を聞いてくれます。



観光物産コーナー

当館オリジナルグッズや那須烏山の名菓や地元特産品など、多数取り揃えてあります。



展望室

天井には、国建造彩色選定保存技者、吉原北幸先生の作品『龍門の鳴龍』があり、間近で見ることが出来ます。ここから見下ろす、龍門の滝は絶景です！



民話アニメコーナー

烏山の数ある民話の中から、『烏山の名のおこり』『師走八日の千本騒動』『龍門の滝』『滝ごえの木』『蛇姫様』の代表的な5つのお話が観られます。



龍門の鳴龍

日光山輪王寺『大昇龍』を書いた吉原北幸先生により、畳8畳ほどの地元烏山産樹齢約300年の杉板に、唐墨と黒墨で描かれたもので、約半年の歳月を費やし、平成8年9月に完成させて頂いた作品です。



熟露枯 オーナーズボトル 1500ml

5年～20年、熟露枯大吟醸1.5Lボトルをどうくつ酒蔵にてじっくり熟成をかけ、ご契約年経過後お届け致します。

オリジナルラベルには、メッセージ記入スペースがございます。

お子様ご出産から20年熟成し、成人式のお祝いなど、メモリアルシーンにご利用ください。



◆ ニューイヤーボトル 干支ラベル

今年の新酒を洞窟酒蔵にて年末まで熟成し、年末年始にお届け致します。新年をニューイヤーボトルで祝う。また、お歳暮ギフトとして。

・純米酒1800ml ・純米大吟醸酒1500ml ・大吟醸酒(甕)1800ml



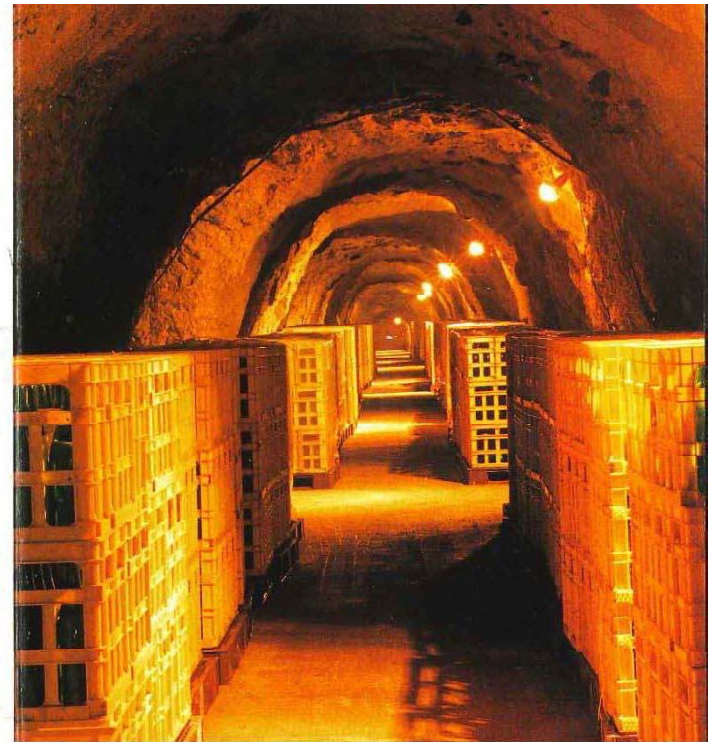
どうくつカフェ
UROCO

夏季のみ営業しております
営業時間/開放日の10:00～16:00

清酒 **東カシ**

株式会社 島崎酒造

〒321-0621 栃木県那須烏山市中央 1-11-18
TEL : 0287-83-1221 FAX : 0287-84-1728
E-mail : uroko@azumarikishi.co.jp
www.azumarikishi.co.jp



那須烏山市近代化遺産

どうくつ酒蔵

見学のご案内

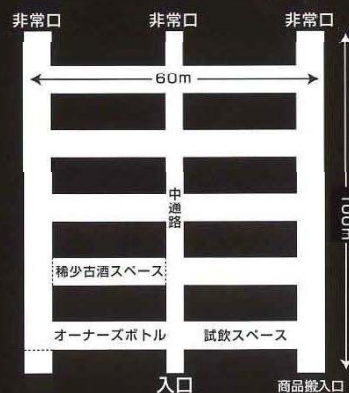




土木学会選奨土木遺産・ 那須烏山市の近代化遺産

この洞窟は、第2次世界大戦末期に戦車を製造するために建造された地下工場跡です。昭和19年11月に東京動力機械製造(株)の疎開が決まり、山裾に半地下式工場が建造され、隣接してこの地下工場も造られた。半地下式工場では、終戦までに約20台の戦車が製造されたと言われている。しかし、この地下工場では戦車を製造することなく終戦を迎えています。

どうくつ 内部図



たて抗 100m 3本
横抗 60m 5本
延べ 600m

どうくつ 瓶罎熟成酒に こだわる理由



- ① 一般的なタンク貯蔵は瓶詰までに2回の熟処理を行います。どうくつ貯蔵酒は直接瓶詰の1回の熟処理のため、酒質の変化を最小限に抑え、熟成したそのままをお届けできます。
- ② 太陽光線がまったく入らないので、日光による変化がありません。
- ③ 年間を通じ、どうくつ内温度は平均10℃、季節により±5℃で清酒の熟成には最適温度であると共に、その四季を通じた温度差により、瓶内で対流が生じ常に品質が均一化された状況で熟成されます。



見学 のご案内

洞窟酒蔵開放日 4月～11月

見学無料

見学ご希望の方はこちらまで
お気軽にお問い合わせください。

開放日 土日祝・GW・お盆 TEL:0287-83-1221
開放時間 午前10時～午後4時 FAX:0287-84-1728

蔵元限定洞窟酒の販売も行っております。

洞窟酒蔵売店

営業日 洞窟酒蔵開放日
開放時間 午前10時～午後4時

- 開放日の詳細については、ホームページでご確認ください。
- 開放日以外は、事前のご予約にてご見学できます。



熟露枯 大吟醸ヴァンテージボトル 300ml

昭和45(1970)年から大吟醸酒の熟成酒づくりの取組みを開始し現在まで1年も欠けることなく毎年最高品質の大吟醸酒を保有。繊細で上品な熟成香味の大吟醸古酒を愛し続け、長きに亘り情熱込めてつくり続けております。30年分のヴァンテージボトルを商品化致しました。



清酒はもちろん、長期熟成酒、ワイン、リキュール、東力士オリジナル商品を販売しております。利き酒ルームを常設しております。

営業時間/9:00～18:00 元日のみ休業